



立川市民オペラ公演2014 歌劇「アイーダ」

2014年3月15日(土)16日(日) たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール

新しい年を迎えサポーターの皆様、如何お過ごしでしょうか？ 気がつけば2月・・・3月公演迄残すところ1ヶ月となりました。最高の舞台を目指して、出演者、スタッフ一同奮闘中です。サポーターの皆様のご支援のお蔭で「立川市民オペラ」は公演毎に高い評価を頂いています。歌劇「アイーダ」公演も是非成功させたいと思いますので応援よろしくお祈りいたします！！

1月30日 立ち稽古風景(子ども未来センター スタジオにて)

オペラ合唱団より

立ち稽古が始まってから2ヶ月経ちました。それぞれの場面、演出の先生が丁寧に説明して下さいます。エジプトとエチオピアの戦いに関して、残酷な内容も想像しなくてははいけません。でも先生がとても話し上手なので、爆笑することがたびたびありました。そのおかげもあって団員のテンションは日毎に上がっています。1月16日からエキストラさんも練習に参加しました。エチオピア人捕虜を槍で追い立てる演技をエキストラさんがします。それに反応することで捕虜の演技もさらに良くなりました。いよいよ2月からソリストさんが加わります。プロの皆さんとの稽古は、刺激があり楽しみです。素敵な公演になるよう全力を尽くします。どうぞご期待下さい。

本番に向けて熱気のある稽古場でしたが笑いもあり、とても楽しかったです！



立川管弦楽団より

管弦楽のみの練習ばかりでなく、ソリストの方々や合唱の方々と合わせる練習に取り掛かっています。息を合わせる場所に醍醐味があります。公演の当日は、ぜひ客席の前に来て、オケピットがどうなっているかご覧ください。



**チケットが残り少なくなっています！
急いで下さい！**

3月15日(土)のSS席は既に完売

S席 他残席有ります

16日(日)はSS席 S席 共に残り僅かになっています！



連載「知っている面白くなる」

今回はアイーダに関わる楽器のお話です。まずはアイーダトランペット(パート名はエジプトトランペット)。2幕の凱旋の場面で舞台上で使われる1m30cmほどの長いトランペットです。変イ調と口調の2種を用い、転調と掛け合いで音響とともに視覚的にも効果満点。ヴェルディの死後、ツタンカーメンの墓から古代のトランペットが発見されましたが、50cmと58cmという短いものでした。ただ偶然ですがヴェルディが考えたように2種あり現在でも演奏可能だとか。また楽器としては実現しま

せんでしたが、1幕2場の神聖な踊りや4幕2場では、エジプト的な音色を求め変イ調のフルート(エジプトフルート?)の使用を検討していたそうです。最後はアイーダに限らず彼の作品で使用される低音金管楽器チンバツソ。チューバ奏者が吹きますが、その形は巨大なトロンボーンで、伸び縮みするスライドの代わりに音高を変えるバルブが付いています。アイーダトランペットは舞台上で映えますが、チンバツソはオーケストラピットを覗けば見えるかも知れません。

